

経済学部A方式Ⅱ日程・社会学部A方式Ⅱ日程  
スポーツ健康学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～18	日 本 史	20～35
世 界 史	36～51	地 理	52～60
数 学	62～67		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
  - ・ 解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
  - ・ 解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
  - ・ 解答を導く途中経過も書くこと。
  - ・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
  - ・ 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

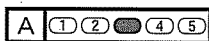
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

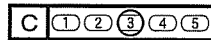
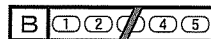
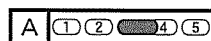
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

# (世界史)

〔I〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

ユーラシア大陸の西端に位置するイベリア半島は、ピレネー山脈やジブラルタル海峡といった自然の障壁があるにもかかわらず、古来より様々な民族と文化が往来する交差点であり、衝突、排除、融合が繰り返された。イベリア半島の各地に残されたムデハル様式の建造物は、キリスト教とイスラーム教の関係を象徴的に表している。

遅くとも前三千年紀には先住民族イベリア人がこの地に定着しており、その後ケルト人が侵入した。前8世紀以降、フェニキア人やギリシア人が沿岸部などに植民市を形成していたが、前  世紀にローマとカルタゴの間で戦われた二度目の戦争の結果、イベリア半島にローマ属州ヒスパニアが置かれた。パックス・ロマーナ下で経済的に繁栄した<sup>(1)</sup>ヒスパニアからは、『幸福論』を著したストア派哲学者でネロ帝の教師だった  や、五賢帝の二人目でローマの版図が最大になった時の  帝も輩出された。  世紀にキリスト教を国教とした  帝もまたヒスパニア生まれであった。

ローマの次は、ゲルマン人の侵入によってイベリア半島は大きな変化の波をかぶることになった。アジア系遊牧民  人の襲来に端を発する4～6世紀におこったゲルマン民族の大移動では、  人がガリアからイベリア半島に侵入するが、遅れて侵入してきた西ゴート人から押し出される形で、ガイセリック王の時にイベリア半島から北アフリカへ移動し、カルタゴを首都として  王国を建国した。もともとドナウ川下流域に居住していた西ゴート人は  人から逃れてローマ領に入り、アラリック王の時にローマ市を一時占領する。その後、南ガリアへ移動して西ゴート王国を建国し、さらにはイベリア半島まで勢力を伸ばした。<sup>(2)</sup>西ゴート王国は西ローマ帝国とゲルマン諸族の連合軍に加わり  率いる  人の軍を打ち破り、同時代のゲルマン人諸王国の中で最も長く存続した。しかし6世紀になると  率いるフラン

ク王国との戦いに敗れてガリアの領土を奪われ、次いでユスティニアヌス帝のビザンツ帝国から侵攻を受けてイベリア半島の南部を失った。弱体化した西ゴート王国は、シリアの [ 3 ] を都とするウマイヤ朝によって711年に征服され、属州アル・アンダルスとなった。

ウマイヤ朝がトゥール・ポワティエ間の戦いに敗れると、アル・アンダルス内<sup>(3)</sup>の諸民族の内紛や反乱によって混乱が生じた。その中で [ 4 ] を首都とする後ウマイヤ朝が起こった。一方、イベリア半島北部に残っていたバスク人や西ゴート王国の残党をはじめとするキリスト教徒は、 [ C ] 世紀以降に南方へとレコンキスタを進めた。1031年に後ウマイヤ朝が内紛の中で崩壊すると、レコンキスタは勢いを増した。10～12世紀にかけて [ 5 ] , [ 6 ] , [ 7 ] という三つのカトリック王国が成立し、1479年に [ 5 ] 王子フェルナンドと [ 6 ] 王女イサベルの婚姻によってスペイン王国が生まれる。スペインは [ D ] 世紀に [ 8 ] の首都グラナダ<sup>(5)</sup>を占領し、これをもってレコンキスタは達成された。こうして成立したスペインは、彼らにとっての異教徒であるイスラーム教徒との戦いや統治の経験を踏まえて、同じころコロンブスらによって「発見」され誤解から [ 9 ] と呼ばれた南北アメリカ大陸へ進出することになる。

問1 空欄 [ あ ] ～ [ お ] にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |             |          |
|-------------|----------|
| a アッティラ     | b エグバート  |
| c オットー1世    | d オドアケル  |
| e キヴィタス     | f キケロ    |
| g クラッスス     | h クローヴィス |
| i コンスタンティヌス | j セネカ    |
| k テオドシウス    | l トラヤヌス  |
| m ハドリアヌス    | n ホラティウス |
| o ユリアヌス     |          |

## 世界史

問2 空欄  ～  にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |   |                 |   |        |   |        |
|---|-----------------|---|--------|---|--------|
| a | アヴァール           | b | アッコン   | c | アッパース朝 |
| d | アナトリア           | e | アラゴン   | f | イエルサレム |
| g | インカ             | h | インディアス | i | ヴァンダル  |
| j | オスマン帝国          | k | カステイリヤ | l | コルドバ   |
| m | サンティアゴ＝デ＝コンポステラ | n | ジパング   |   |        |
| o | 神聖ローマ帝国         | p | ダマスクス  | q | トレド    |
| r | ナスル朝            | s | 東ゴート   | t | ブルグンド  |
| u | フン              | v | ポルトガル  | w | マジヤール  |
| x | ムワッヒド朝          | y | メキシコ   | z | ラテン帝国  |

問3 空欄  ～  にもっとも適した数字を解答欄にマークせよ。

問4 下線部(1)に関して、ローマの属州の説明として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ローマが派遣したコンスルによって統治された。様々な税の徴収という形で搾取され、ローマの繁栄を経済的に支えた。

イ 最初の属州となったのはシチリアであった。

ウ 主にプレブスが徴税を請け負い、富を蓄積して大土地所有者となっていた。

エ 形式的には同盟国であり、自治権もあったが、ローマが派遣したコンスルによって搾取された。

問5 下線部(2)において、イベリア半島に定着した西ゴート王国が6世紀に改宗した背景には、先に改宗していたフランク王国の影響があった。両国の改宗前と改宗後の宗教として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア アタナシウス派キリスト教からネストリウス派キリスト教に改宗した。
- イ アリウス派キリスト教からアタナシウス派キリスト教に改宗した。
- ウ カタリ派キリスト教からアタナシウス派キリスト教に改宗した。
- エ コプト派キリスト教からアタナシウス派キリスト教に改宗した。

問6 下線部(3)の戦いの相手国として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア カール大帝率いるフランク王国
- イ ピピン率いるフランク王国
- ウ カール＝マルテル率いるフランク王国
- エ ルートヴィヒ1世率いるブルグンド王国

問7 下線部(4)の国について述べた文章として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア アター制にかえてイクター制を始めた。
- イ 最盛期の君主アブド＝アルマリクはアミールからカリフへと称号を変更した。
- ウ スンナ派であった。
- エ イブン＝ルシュド(アヴェロエス)が仕えた。

世界史

問8 下線部(5)の都市に位置するイスラーム建造物として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア アズハル学院

イ アルハンブラ宮殿

ウ ウマイヤ=モスク

エ エローラ石窟寺院

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

1 の戦いでハロルド2世を破り、イングランドを征服したノルマンディー公ウィリアムは、ウィリアム1世として即位し、 I 年にノルマン朝を開いた。このノルマン=コンクエストによって、フランス王の家臣がイギリス王として君臨することになり、イギリスにはフランスの制度が導入され、その文化や慣習ももたらされた。12世紀には王位をめぐる内乱が起きたが、フランスのアンジュー伯が A として即位し、 II 年にプランタジネット朝を創始した。アキテーヌ侯の娘と結婚し、イギリスとフランスに広大な所領を獲得した A は、イギリス国内の行政を整備し、司法改革をおこなって、王権を強化した。この国家は1189年に B に継承され、その後、ジョンが第3代の王となった。ジョン王はフランス王 C との戦いに敗れてノルマンディーを含む在仏所領の大半を失っただけではなく、カンタベリ大司教の任免をめぐる問題でも D と対立し、破門された。その後、破門を解いてもらうために D に屈服し、国内で重税を課すなど、失政を重ねたジョンに対して、イギリス国内の貴族たちは不満を強め、 III 年にマグナ=カルタを認めさせた。マグナ=カルタはイギリス立憲政治の基礎と見なされている。これによって、国王の権利は制限され、貴族たちは王権を厳しく監視するようになった。

ジョンの跡を継いだ E がマグナ=カルタを無視する専制をおこなうと、それに反発したシモン=ド=モンフォールが貴族たちと結託して王に対抗し、1265年に議会を招集した。この「モンフォール議会」は、イギリス議会の起源となった。続く第5代の王 F がシモン=ド=モンフォールを打倒し、1295年<sup>(1)</sup>には模範議会が招集された。これによって、イギリスでは議会が発展し、身分制議会が確立されていった。

一方、フランスでは、987年から続いたカペー朝の直系が断絶し、 IV 年に傍系の G がヴァロワ朝を開いた。そこで、イギリスのエドワード3世<sup>(2)</sup>が母方の血統を根拠にフランス王位の継承権を主張し、1339年にフランスに侵入した。これによって百年戦争が開始され、イギリスとフランスの抗争は一世紀以上続くことになった。この戦争の背景には、毛織物の産地として知られる

## 世界史

2 地方の両国間での争奪やフランス南西部の公国 3 をめぐる対立などがあつた。長弓隊の活躍によって1346年に 4 の戦いに勝利したイギリス軍は、エドワード黒太子の指揮で1356年の 5 の戦いも制した。しかし、ジャンヌ＝ダルクが登場し、1429年に 6 の包囲を破ると、劣勢だったフランス軍は反撃に転じた。 7 で戴冠したシャルル7世が1453年に 8 をのぞく全国土からイギリス軍を駆逐し、戦争はフランスの勝利によって終結した。

百年戦争後のイギリスでは、ランカスター家とヨーク家が王位継承をめぐつて争い、<sup>(3)</sup>バラ戦争が起つた。この戦いを収めたのは、ヘンリ・テューダーであつた。彼は国王ヘンリ7世となり、<sup>(4)</sup>テューダー朝を開いた。

問1 空欄 1 ～ 8 にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |          |                |
|----------|----------------|
| a アヴィニオン | b アルザス         |
| c ヴェルダン  | d オルレアン        |
| e カレー    | f ギュイエンヌ(ギエンヌ) |
| g クレシー   | h シャルトル        |
| i ソナム    | j タンネンベルク      |
| k バーミンガム | l パリ           |
| m フランドル  | n ヘースティングズ     |
| o ポワティエ  | p マンチェスター      |
| q ランス    | r リヴァプール       |
| s ワーテルロー |                |



問2 空欄  ～  にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |   |             |   |         |
|---|-------------|---|---------|
| a | インノケンティウス3世 | b | ウィリアム3世 |
| c | エドワード1世     | d | ジェームズ1世 |
| e | ジェームズ2世     | f | チャールズ1世 |
| g | チャールズ2世     | h | フィリップ2世 |
| i | フィリップ4世     | j | フィリップ6世 |
| k | ヘンリ2世       | l | ヘンリ3世   |
| m | ボニファティウス8世  | n | リチャード1世 |
| o | ルイ9世        |   |         |

問3 空欄  ～  にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |
|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|
| a | 1051 | b | 1066 | c | 1148 | d | 1154 | e | 1172 |
| f | 1203 | g | 1215 | h | 1317 | i | 1328 | j | 1332 |

問4 下線部(1)について述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 模範議会には各州・各都市を代表する騎士・市民も参加した。
- イ 模範議会の名称は、封臣会議を模範とするよう、召集時に王が名づけたことに由来する。
- ウ イギリスでは14世紀に二院制議会が成立した。
- エ 上院(貴族院)はイギリスの身分制議会を構成する議院の一つで、大貴族と高位聖職者の代表から成った。

## 世界史

問5 下線部(2)について述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ヴァロワ朝は16世紀後半のユグノー戦争で混乱した。
- イ ヴァロワ朝はアンリ3世の暗殺によって断絶した。
- ウ ヴァロワ朝の時代にフランスルネサンスが開花し、作家ラブレーが『ガルガンチュアとパンタグリユエルの物語』を著した。
- エ ヴァロワ朝の時代に人文主義者・思想家のモンテーニュがあらわれ、『ユートピア』で中庸の精神を説いた。

問6 下線部(3)について述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ランカスター家はプランタジネット系の有力な王家であった。
- イ ヨーク家は1461年から1485年まで王位についた。
- ウ バラ戦争によってエドワード4世が敗死し、ヨーク家の王朝は絶えた。
- エ バラ戦争は1455年から1485年まで続き、それによって貴族層は没落し、多くの騎士は疲弊した。

問7 下線部(4)について述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア テューダー朝のヘンリ7世によって王権は強化され、ヘンリ8世の時代には国王至上法(首長法)によって国王を最高の首長とする国教会制度がつけられた。
- イ テューダー朝においては、1534年に統一法が發布され、メアリ1世が一般祈禱書を發布した。
- ウ ヘンリ8世の時代には、牧羊のために、共有地の囲い込み(第1次囲い込み)が進行した。
- エ テューダー朝の時代に劇作家シェークスピアが活躍し、『ヴェニスの人』や『ハムレット』などを著した。

## 世界史

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

大航海時代に、 は、スペインから南アメリカ南端を経てフィリピンに到達した。「太平洋」の名も彼の命名による。その後、多くの失敗を経て1565年にフィリピンからアメリカ大陸への航路が発見され、フィリピンのマニラとアメリカ大陸西岸の港市  を結ぶ太平洋航路が確立した。その後スペインは、フィリピンの東方にある  を支配下におさめた。

17世紀に入って、オランダの東インド会社の依頼を受けた  が、現在のオーストラリア沿岸を二度探検したが、大陸であることは発見できなかった。しかし、18世紀後半にイギリスの  が3回に渡って探検し、オーストラリアを発見して領有宣言をした。

の探検によって、太平洋上の多くの島々がヨーロッパに知られるようになった。19世紀前半に、オランダは、オランダ領東インドの東側にある  に進出し、イギリスと競合したが、両者の協定によって島の西部はオランダ領東インドに属することとなった。フランスも太平洋での権益確保のために艦隊を派遣し、1847年に  を保護領とした。  には19世紀後半に画家のゴーガンが移り住んだ。

19世紀後半になると、欧米の諸国家の南太平洋進出はさらに盛んになった。イギリスに対抗して、フランスのナポレオン3世は南太平洋に艦隊を派遣し、 を領有した。  はその後流刑植民地となった。イギリスは、 や  が上陸したフィジー諸島を併合し、さらには  南部を獲得した。ドイツは、国家統一後にミクロネシアとメラネシアに進出し、メラネシアでは自国の宰相の名にちなんで命名した  を保護領とした。またドイツは、 東部にも進出し、東部を北と南に二分してドイツとイギリスで分け合った。ドイツは  にも進出したが、これもイギリスと競合し、さらに  ではアメリカとも武力衝突した。結局、この三国は1899年に協定を結ぶに至り、 西部のドイツ領有をイギリスが承認する代わりにドイツはブカ島やブーゲンビル島以外の  をイギリスに手放し、 東部はアメリカが領有することとなった。

19世紀末のアメリカ＝スペイン(米西)戦争でのスペイン敗戦は、中部太平洋上の諸島の領有状態に大きな変化をもたらした。スペインは1898年のパリ条約によって、アメリカに  を割譲し、フィリピンを2000万ドルで譲渡することに同意した。これに対してフィリピンではフィリピン共和国の独立宣言が出され  が大統領となったが、アメリカは武力でこれを平定した。一方、アメリカは、同時期にハワイ諸島を併合し、これによって太平洋を横断する拠点を確保するに至った。<sup>(2)</sup>ところが、スペインの衰退に乗じて、ドイツはパリ条約の翌年、2500万ペセタでミクロネシアにスペインが領有する島々を買収した。この結果、北は  から南は  北東部までのドイツ領南洋諸島が誕生した。これはアメリカの太平洋戦略にとっての潜在的脅威となった。

しかし、第一次世界大戦でのドイツの敗北は、太平洋での勢力図を一変させた。日本は大戦勃発後、日英同盟を根拠にドイツに宣戦し、ドイツ領南洋諸島を占領した。<sup>(3)</sup>  条約でドイツ領南洋諸島は国際連盟の委任統治領となり、赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島の受任国は日本、赤道以南の旧ドイツ領のうち、旧ドイツ領  と  の受任国はオーストラリア、 西部の旧ドイツ領の受任国はニュージーランドとされた。このような日本の太平洋での勢力拡大はアメリカを警戒させ、アメリカは日本の軍事力や権益を抑制する外交政策を推し進めるようになった。アメリカ大統領  はワシントン会議開催を提唱し、会議では、太平洋地域の現状維持と共同会議による紛争処理を定めた  条約が結ばれた。これによって、アメリカがアジア外交政策上の障害と見なしていた日英同盟が解消された。

日本は1933年3月に国際連盟脱退を通告したが、日本による赤道以北の南洋諸島の委任統治は継続された。アメリカは太平洋地域の自国の統治領域の軍事化を敢えて避けることによって、非軍事化を規定した委任統治条項を日本に順守させようとした。しかし、1937年に始まった日中戦争の長期化によって、日本では資源確保のために東南アジア方面に進出するべきだとする南進論が次第に強まった。日本の中国侵略に抗議した1939年7月のアメリカによる  条約の破棄通告はこの動きを加速した。そして、第二次世界大戦が勃発し、東南アジアと南太平洋に植民地を保有していたオランダとフランスがドイツに侵攻されたことは、

## 世界史

日本の南進に大いなる実現可能性を与えた。日本はフランス領インドシナ北部に軍を進駐させた。が率いるフランスのヴィシー政府は、対抗手段を持ちえず、進駐を容認した。また日本は南洋諸島の将来的帰属についてドイツと交渉を重ねたうえで、同盟を締結した。

アメリカは1941年3月に従来の中立政策を変更し、武器貸与法を成立させて、反ファシズム諸国への武器や軍需品の支援を開始した。アメリカは1941年4月に日本と交渉に入ったが、7月に日本軍がフランス領インドシナ南部にも進駐したことで態度を硬化させ、交渉は行き詰まり、太平洋戦争に突入した。日本は、ハワイの真珠湾のアメリカ軍基地を攻撃すると同時にイギリス領であったに上陸しアメリカ、イギリス両国に宣戦した。そして、アメリカ領であったフィリピン、オランダ領東インド、イギリス領であったなどを占領した。

問1 空欄～にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |             |           |
|-------------|-----------|
| a ギルバート諸島   | b グアム島    |
| c サイパン島     | d サモア諸島   |
| e スラウェシ島    | f ソロモン諸島  |
| g タヒチ島      | h トンガ諸島   |
| i ニューカレドニア島 | j ニューギニア島 |
| k バリ島       | l ビスマルク諸島 |
| m ボルネオ島     | n マーシャル諸島 |
| o マリアナ諸島    | p マレー半島   |
| q ミッドウェー島   |           |

問2 空欄にもっとも適した人名、空欄にもっとも適した地名を解答欄に記せ。

問3 空欄 ① ～ ③ にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| a アギナルド   | b ウィルソン  | c クーリッジ  |
| d スハルト    | e ド＝ゴール  | f ハーディング |
| g フーヴァー   | h ブルム    | i ペタン    |
| j ホセ＝リサール | k ボニファシオ |          |

問4 空欄 A ～ C にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |          |          |            |
|----------|----------|------------|
| a ヴェルサイユ | b 九か国    | c サン＝ジェルマン |
| d 四か国    | e ジュネーブ  | f 太平洋安全保障  |
| g 日米修好通商 | h 日米通商航海 | i 日米和親     |
| j ラロトンガ  |          |            |

問5 下線部(1)について述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア キューバのスペインからの独立支援を理由にアメリカは開戦した。
- イ セオドア＝ローズヴェルト大統領の政権時に起こった。
- ウ スペイン敗戦の結果、プエルトリコがアメリカ領となった。
- エ ハバナ港でのアメリカ軍艦の爆沈がアメリカ開戦のきっかけとなった。
- オ すべて正しい。

## 世界史

問6 下線部(2)について述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 19世紀初頭にカメハメハ朝がハワイ全島を統一してハワイ王国を建てた。
- イ 19世紀前半に憲法が發布され、立憲君主政となった。
- ウ 女王リリウオカラニは親アメリカ系市民のクーデターで退位させられた。
- エ 19世紀末にアメリカは条約によって50番目の州としてハワイを併合した。
- オ すべて正しい。

問7 下線部(3)について述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア ロシアの極東進出に対抗するために締結された。
- イ 第一次同盟では両国の一方が2国以上と戦争をする場合、他方の同盟国は参戦をすることが義務づけられた。
- ウ 1905年と1911年の2度に渡って更新された。
- エ この同盟に基づいて日露戦争時にイギリスはポーツマスで講和会議を斡旋した。
- オ すべて正しい。



問8 下線部(4)以降の日本軍進駐とフランス領インドシナについて述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 援蒋ルートを遮断することが進駐の目的の一つだった。
- イ フランスと日本の軍事的衝突と不作が相まって北部で深刻な米の流通不足となり、多数の餓死者が出た。
- ウ フランスと日本の植民地支配からの独立を目指すベトナム独立同盟(会)が結成され、ホー＝チ＝ミンが主席となった。
- エ 日本が敗戦した1945年に、フランスは阮朝のパオダイを擁立してベトナム国を樹立した。
- オ すべて正しい。

問9 下線部(5)について述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア フランクリン＝ローズヴェルト大統領が提案した。
- イ この法の制定以前には、中立法によって交戦国への軍需物資や借款の供与が禁じられていた。
- ウ アメリカ防衛に必要と考えられる諸国への軍需品の貸与権限を大統領に認めた。
- エ 軍需品はイギリスやソ連に貸与された。
- オ すべて正しい。